

# 万田っ子だより

『目標に向かって挑戦』

第5号 (R8.6.18)

「Trial and error」

文責：校長 右田尚久

保護者の方々のご協力により、朝からの送迎の車がかなり減りました。子供たちの安心安全のためのご理解とご協力に感謝申し上げます。この学校だよりを見ていただいているのだなとうれしく思いました。

さて、運動会が終わり、二週間余りが過ぎました。例年この時期は、子供たちが落ち着かず、大きなけがが起きたりしがちなのですが、本年度の万田小学校の子どもたちは、とても落ち着いた学校生活を送っています。これも各ご家庭でのお声かけのおかげだと感謝しております。

## 「感謝されるって気持ちいい」



前号では、6年生が荒尾駅周辺の花壇整備を行ったことを紹介しました。6月11日(木)、今度は5年生がその花壇にマーゴールドやペチュニアなど約1,000株の花苗を植えました。

当日は、浅田市長にもお越しいただき、子供たちへ激励と感謝の言葉をいただきました。市長さんからの温かい言葉に、子供たちの表情も一段と輝き、「自分たちの活動が地域のためになっている」という思いを強くしたようでした。

また、4月に荒尾市で開校したICA国際会話学院の生徒9名(ネパール出身8名、ミャンマー出身1名)の皆さんにも参加していただきました。子供たちは一緒に花を植えながら積極的に声をかけ、笑顔で交流する姿が見られました。言葉や文化の違いを越えて心を通わせる子供たちの姿に、大変頼もしさを感じました。

約1時間後には、花壇は見違えるほど美しく生まれ変わりました。色鮮やかな花々が咲き誇る様子は、荒尾市の玄関口である荒尾駅を訪れる人々の心を和ませてくれることでしょう。活動後には地域の方々から感謝の言葉もいただき、子供たちは自分たちの働きが誰かの喜びにつながることを実感できたと思います。

私は、このような地域貢献活動には、花を植える以上の大きな価値があると考えています。自分たちの住む地域を大切に思う心、周りの人のために進んで行動する心、そして仲間と協力して最後までやり遂げる力を育てることができるからです。

今回の5年生の姿からは、本校が大切にしている「考え動く力」が着実に育っていることを感じ、大変うれしく思いました。これからも地域とのつながりを大切にしていきたいと思えます。5年生の皆さん、本当にありがとうございました。



## 挨拶運動



毎朝、児童会役員 10 名が正門であいさつ運動に取り組んでいます。登校してくる子供たちも、そのあいさつに元気よく応え、気持ちのよい朝のスタートをつくってくれています。

本年度の児童会テーマは「チャレンジ」です。その中の一つに「立ち止まってあいさつにチャレンジ」があります。私も毎朝正門に立っていますが、立ち止まってあいさつをする子供たちが少しずつ増えてきました。先日は、ついに 10 名を超える子供たちが立ち止まってあいさつをしてくれました。とてもうれしく、頼もしく感じています。



児童会役員の子供たちも、5 名ずつのグループに分かれ、1 日おきに週 3 回（金曜日は全員参加）あいさつ運動を続けています。学校をよりよくしようと頑張る姿に心から感謝しています。

先日、そんなあいさつ運動の中で、とても心温まる場面がありました。ある 3 年生の男の子が、正門に立っている児童会役員一人一人に向かって頭を下げながら、「おはようございます」とあいさつをして通っていったのです。その姿を見た児童会役員の子供たちからも、思わず「すごーい！」という声が漏れました。相手を大切に思う気持ちが伝わる、すばらしいあいさつでした。



あいさつは、人と人との心をつなぐ第一歩です。正門や校内だけでなく、地域の中でも、そしてこれから出会う多くの人たちに対しても、「いつでも、どこでも、誰にでも」気持ちのよいあいさつができる万田っ子であってほしいと願っています。子供たちのあいさつの輪が、これからさらに大きく広がっていくことを期待しています。

## プール開き～「泳ぐ力」は命を守る力～

今週から水泳学習が始まりました。月曜日の 6 年生のプール開きでは、子どもたちに「水泳は自分と家族の命を守るための大切な学習である」という話をしました。

私たちは水泳というと、「速く泳ぐこと」や「長く泳ぐこと」に目が向きがちです。しかし、本当に大切なのは、水の中で自分の命を守る力を身に付けることです。もしも家族や大切な人が池や川などでおぼれるような場面に遭遇したとき、自分が泳げなければ助けることはできません。また、助けようとして無理に飛び込めば、自分自身も危険な状況に陥ってしまいます。

だからこそ、泳げるようになることは、自分の命だけでなく、周りの人の命を守ることに繋がります。水泳学習は単なる体育の授業ではなく、「命を守る学習」でもあるのです。

特に平泳ぎは、力を効率よく使いながら長い距離を泳ぐことができ、呼吸もしやすい泳法です。万が一の場面で落ち着いて水に浮き続けたり、長く移動したりするためにも、とても大切な泳ぎ方です。

これから始まる水泳学習では、安全を第一にしながら、一人一人が自分の力に応じて楽しみながら泳力を伸ばしてほしいと思います。低学年は、その泳法が身に付くための水慣れ、基本動作、そして、高学年は「泳ぐ力は命を守る力」であることを忘れずに水泳学習に取り組んでほしいと願っています。

